

# かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 10 No 07

108号

平成14年 7月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

## W杯サッカー

院長

ワールドカップ(W杯)・サッカーが終わり、少し淋しくなりました。皆さんのW杯への興味はどうでした。普段サッカーには興味が無いのですが、古いタイプなのか国の対抗試合となると、どうしても燃えてきます。実際にはルールが一通りわかる程度にわかファンですから、のめり込むなんて思いもしませんでした。

W杯が近づくに連れて、話題が多くなってきました。カメルーンの到着劇と中津江村の村長さん。イタリアのキャンプ地仙台と地元放送局のイタリア語講座。しかし評論家の予想では、予選リーグ突破は不可能という見解でした。

6月4日の対ベルギー戦、期待に大きく胸を膨らませホイッスルを待ちました。最初に得点されたときは、過去の試合が脳裏に浮かび、「もうだめ!、またか」という思いが浮かびました。粘って追いつき2対2の引き分け、W杯で初めての勝ち点を上げました。引き分けに終わったものの、日本は強くなったという印象を持ったのは自分だけではなかったと思います。

日本代表の活躍や連日の報道で気持ちも盛り上がり、サッカーを生で見たいと思うようになりました。ちょうど、宮城スタジアムでのメキシコとエクアドルの切符を譲り受けることが出来ました。宮城スタジアムまではJRとシャトルバスを利用し、心配していた混雑もなくスタジアムに着きました。スタジアムに近づくに従い、陽気な南米音楽、空も青く晴れ上がり、日本語の看板を除けば、もうそこは外国という気分でした。せっかく南米まで来たんだという気持ちから、サポーターの外国人を見つけ写真を撮ってきたことはいまでもありません。両国の国旗が入場したときの感動は、久しぶりのものでした。芝生の緑、メキシコの赤と緑、エクアドルの黄色、こんなにきれいな色があるのかと思うほどの感激でした。そして特にメキシコ人の陽気さ、熱心さが伝わってきました。エクアドル選手が入場してきただけでのブーイング、さすが少し驚きました。数の上でもエクアドルと比べはるかに多く、最初か

ら最後まで騒ぎ通しでした。やはり南米の人は違くと、勝手に感心していました。

その後の予選リーグの日本代表、なかなかのものでした。サッカーの試合が待ち遠しかったなんて、今まではありませんでした。1,2戦は夜だったので、安心してテレビで観戦。しかし第3戦のチュニジア戦、これは予選リーグ突破への大切な試合でした。まさか休診するわけにもいかず、ビデオ作戦を取ることにしました。結果がわかってからでは楽しみも半減するので、家族にもスタッフにも試合結果を伝えないようにして、診療後はまっしぐらにビデオへ。

そして決勝リーグの第1戦、これまた運が悪いことに日中の試合となりました。サッカーに熱狂している父親の姿を見て、子どもたちからの父の日のプレゼントは日本代表のユニフォームとペインティングのセット。せっかくのユニフォーム。トルコ戦ではユニフォームを着用し、腕に日の丸をペインティングして午後の診療に当たったことは言うまでもありません。もちろんスタッフ全員、ペインティングをして。初めて来た患者さんには、変なクリニックと思われたかもしれません。精一杯の応援の気持ちを表せたと思っています。

残念ながら、決勝リーグでは1勝も出来ず敗退。しかしここまでのサッカーの歴史の中では、大きな進歩だと思いません。選手個人の能力の高さもありましたが、何と云ってもトルシエ監督の力が大きかったと思っています。スポーツは団体戦であっても、ともすれば個人の技能が優先される風潮があります。もちろん個人の技能の修練は必要ですが、個人の持っている能力を十分に引き出すことが監督やコーチの力です。トルシエ監督の元で、個人個人の能力が十分引きだされ、そしてチームとしてもまとまりが加えられ快挙を成し遂げたのでしょう。同時に、多くの人々に支えられたことも快進撃の理由の一つでしょう。応援だけがサポーターではありません。会場の準備やキャンプ地でのボランティア、それら全てがサポーターなのです。


どうしても立場上、小児科医としての思いが浮かんできます。子どもの持っている力を十分に引き出す、これが育児の基本かもしれません。子どもたちにとっての監督やコーチは、お父さんやお母さんなのです。そして我々も、サポーターとして子どもたちを応援していきたいものです。



★

・お母さんクラブ  
7月25日(木) 14:00~  
「子どもの栄養」  
福沢市民センター

・3歳児検診のため午後診療時間変更  
8月2日(金) 14:00~16:30休診  
健診予防接種はありません



## 読者の広場

先月は30通以上のメールと投書を頂きました。宮城野区の橋本さんから頂いた投書を紹介します。先月号の予約診療にも関係することです。「いつもお世話になっております。うちもゼンソクと診断され通っていますが、ゼンソクやアトピー等うつらない病気の子ども診察時間があればいいなと思います。健診や予防接種の様に、毎週何曜日の何時～何時までというように。毎週でなくてもよいので…。先生の人気があるのにはとてもなっとくなんです、あまり待ち時間が長いのはちょっとイヤなのです。」。貴重な意見、ありがとうございます。先月号の予約診療にも書きましたが、誰も待ち時間が長いのを嫌います。また病院へ来て、他の病気をもらうことも避けなければなりません。確かに橋本さんの言う通りです。毎週何曜日何時と決めることがいいかもかもしれません。健診や予防接種の時間のように10人以上集中すれば、時間が有効に使えます。ところがゼンソクやアトピーの子の割合は、健診や予防接種の数十分の一です。そうすると時間を作っても、その時間に必ずしも集まりません。患者さんの家庭環境は、それぞれ違います。専業主婦のお母さんいれば、共働き、兄弟がいる子いない子様々です。それぞれの都合を考えると、日時を決めることは簡単なことではありません。それこそ全て予約診療であれば、問題はないのですが。結局は普通の診療と同じになってしまいます。となれば改善策はあるのでしょうか。クリニックには混む曜日時間帯があります。その時間を外して来院するか、カゼなどの症状がなければ、健診の終わりのころに待つのも一つの方法です。クリニック混雑番付を表に示しておきます。



**混雑する曜日ベスト3**

- 1.月曜日 午前
- 2.土曜日 午前
- 3.土曜日 午後

**混雑する時間帯**

- 1.17:30以降
- 2.11:30以降
- 3.15:00健診直後

混雑はないが健診がずれる可能性

他に頂いたメールを紹介します。まずは泉区の泉さんから、「先生こんばんは、きょうもお世話になりましたみさくらです。本当に今回は、突然の高熱にびっくり！動揺してしまいました。先生に今日「よかったなお母さん」といって頂き、看護婦さんも笑顔でうなづいて下さって、本当にほっとして、泣きそうになってしまいました。川村こどもクリニックは、今までの病院のイメージとは全く違い皆さん優しくてほっとします。先生、看護婦さん皆さん本当にお世話になりました。これからもよろしく願います。本当にありがとうございました！！」。次は青葉区の入江さんからです。「入江陽太郎の母です。陽太郎はイタズラが出来るほど元気になり、

今度は、とうとう写真集ができました。もう、タレントの仲間入りでしょうか。この本は、全国から特徴のある医療を展開している50人が選ばれています。「医師という隣人たち」は、患者さんのすぐそばにいる理解者、支援者である「隣人」という意味から、題名が付いたようです。待合室に置いてあります。

**7月10日AM8:07時の話題NHKラジオ第一で紹介予定**

昨日は遠すぎるかなと思いつつ山形の天童まで蕎麦を食べに行ってきました。「おそばおいしかったね！また行こうね」と言ってくれて本当にうれしかったです。毎日何気なく食べたり飲んだり、笑ったり怒ったりすることがこんなに素晴らしいことだと、当たり前をいつも当たり前にして怠るなど改めて気付かされた気がします。未熟児で生まれた頃に誓ったこと(健康であることへの感謝の気持ちを忘れずに強い気持ちを持って見守っていこう)とまた強く思いました。先生をはじめ看護婦さんや職員の方には本当にお世話になりました。気持ちの面でもかなり助けていただいて感謝の気持ち

## 新刊書籍の御紹介

小児科医がやさしく教える  
赤ちゃん・子どもの病気  
定価1,350円(税別)

発行 PHP研究所

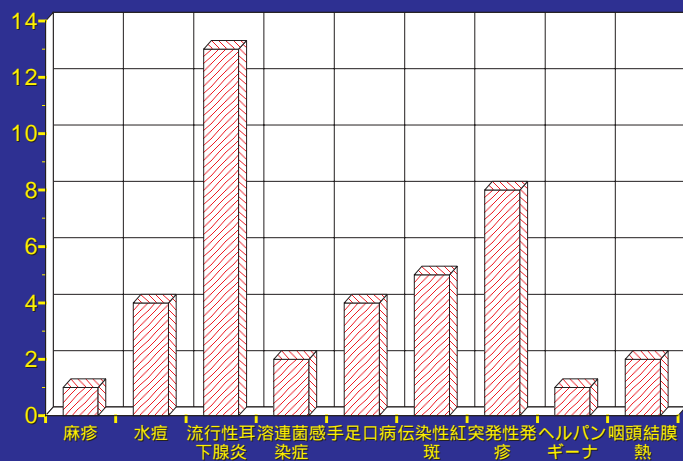
- 序章 先生が教える小児科の上手なかかりかた  
第1章 子どものよくかかる病気・早わかり教室  
第2章 こんな症状、こんな病気で悩んでいるお母さんへ



クリニックで販売出来るようになりました。必要な方には、サインも。

で一杯です。先生は「お母さんが頑張ったから治ったんだよ」と言われましたが、本人の頑張り先生方の力と家族の応援、どれが欠けても良くならなかったと思います。重ねて、重ねて、しつこいようでも重ねてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。薬が無くなる頃また伺いますのでよろしくお願いいたします。きっと今日も私たち親子のような患者さんを診ていることでしょうね。先生！体にお気をつけて頑張ってください！」。そんなことはないですよ。一番頑張ったのは、お母さんです。投書やメール、ありがとうございました。

## 6月の感染症の集計



あちこちで、おたふくが流行しています。類のはれが唯一の症状のことがあります。年齢的には少し大きい子どもたちに多いようです。麻疹が1例あり心配していましたが、流行の拡大はありませんでした。ヘルパンギーナや咽頭結膜熱など、夏風邪の少しづつ見られるようになってきました。高熱、咳、結膜炎のアデノウイルスによる感染症も、増えてきました。結構熱が続き、咳もひどくなるがあります。水痘は、減少してきました。

### 編集後記

サッカー日本代表たいしたもんです。日本戦があるときは、患者さんも少ないと思っていましたが、皆さんもW杯楽しめました？。いつか日本代表戦をスタジアム見てみたいと思っています。もう生きているうちはW杯は日本に来ないし、かと言って観戦のために休診する勇気も無いし。どうしましょう。



7月は日本脳炎の予防接種実施中です。詳しくは受付まで。 ご意見などは、患者専用アドレスpatient@kodomo-clinic.or.jpまで「お母さんクラブ」の会員募集中です。興味にある方は、受付まで